

## 2014 年度秋季大会（山口大学）の記録

山口大学 兵藤隆

### 【前文】

2014 年度日本金融学会秋季大会が 10 月 18・19 日、山口大学吉田キャンパスで開催された。初日から晴天に恵まれ、小川英治（一橋大学）新会長の講演からスタートしたプログラムは、共通論題報告、特別講演、特別セッション及び自由論題報告など 58 の報告・講演がなされた。大会期間中は 271 人の出席があり、また懇親会では、135 人がふぐや長州黒かしわなどの山口名物に舌鼓を打ち、交流を深めた。

### 【要旨】

28 年ぶりに山口大学で開催された秋季大会は、一日目、小川英治（一橋大学）新会長の講演「世界金融危機・量的緩和出口戦略の東アジア通貨への影響」でスタートした。本大会では、「秋の地方大会らしく、地方発信の情報を」というコンセプトで国際金融パネルには山口銀行頭取福田浩一氏を、また、共通論題では、中国財務局長其田修一氏、日本銀行下関支店長鈴木純一氏にご登壇いただいた。また、共通論題「地方における金融教育の現状と課題」では、大和総研調査本部長岡野進氏も参加、民間金融機関の取り組みについてもご説明いただき、産官学連携の今後についても検討が行われた。宮尾龍蔵氏（日本銀行審議委員）による特別講演「日本経済と金融政策」には多数の会員が出席し、多くの質問・意見が寄せられた。また、自由論題も 44 本と例年より多くの研究報告が行われ、各会場で白熱した議論が交わされた。さらに、韓国金融学会からは会長の Hong-Bum Kim 氏（Gyeongsang National University）を始め 6 人の研究者を招待し、日韓特別交流セッションも開催された。

### 【特別講演】

日本銀行審議委員である宮尾龍蔵氏により、「日本経済と金融政策」というタイトルで特別講演が行われた。講演では、資料を元に、わが国経済が緩やかな回復基調であることが説明され、日本銀行として金融政策、とりわけ物価安定を通じた持続的成長の実現へ向けて責務を果たしていくことの重要性が述べられた。講演後には、その場で、質疑応答により出席した会員と直接議論する機会も設けられた。

### 【震災復興パネル】

西山慎一氏（東北大学）を座長に、東北大震災後の地震保険料の見直し、具体的には保険料の値上げの実情について説明があった。さらに、地震保険料の問題あるいは企業向け地震保険制度の未整備により、震災以降も中小企業・中堅企業を中心として地震保険への加入率は 3 割程度と低迷したままで、企業による将来の震災への備えは万全とは言い難いのが現

状であることが報告された。各報告者より企業向け地震保険制度の在り方、あるいは、地震保険以外の手法による二重債務問題の回避方法について検討が行われた。

#### 【国際金融パネル】

家森信善氏（神戸大学）を座長に、1980年代後半に積極的な海外展開を行い、ピークには380の支店を開設した邦銀が、その後の撤退が相次ぎ、2011年3月に92まで落ち込んだことに触れ、現在の海外進出先がアジア地域中心になっていること、そこに山積された課題はなにかについて議論した。中国を中心に現在も海外進出を拡大する山口銀行頭取福田浩一氏からは、実業界から、リアルな報告がなされ、従来の学界からのアプローチだけではみえてこなかった課題が浮き彫りにされ、様々な角度から議論が進んだ。

#### 【歴史パネル】

鎮目雅人氏（早稲田大学）を座長に、中郷銀行による独占的なベースマネー発行とは異なる通貨発行システムとして、分散的な通貨発行の在り方、とりわけ、欧米を中心とした Free Banking に着目し、江戸時代の日本の藩札、私札の発行、中国、東南アジアにおける民間銀行による銀行券発行などの歴史的な分析が発表され、各国において分散的な通貨発行が果たしていた機能と制約、その後の通貨発行集中へ向けた歴史的な経緯について議論された。

#### 【共通論題】

座長の予定であった吉野直之氏（アジア開発銀行研究所）が急用による欠席のため、家森信善氏（神戸大学）を座長として、「次世代へ金融教育はどう変わるべきか」というテーマで地方における金融教育の現状と課題について議論された。わが国における金融経済教育は、日本銀行・金融広報中央委員会や各金融機関の団体等によって進められてきた。大学での金融教育も、経済学部では「金融論」「国際金融論」「証券論」などと幅広く行われているが、理科系の学部においては、金融経済教育はほとんどなされていないように見受けられる。また、一般の方々に対しては、大都市と地方では事情が異なっていると見られる。こうした問題意識を背景に、「地方において、どのように金融経済教育が進められているのか」を3時間に渡り討論した。

（兵藤隆「学会だより」『月刊金融ジャーナル』2014年12月号,pp.118-119より引用）

文責：兵藤隆（山口大学、プログラム委員会および大会準備委員会委員長）

